



令和6年度北海道旭川盲学校第3回学校運営協議会を2月4日（火）に開催しました。

（1）令和7年度の学校経営方針及びグランドデザインについて（2）本校の教育活動について（3）図書関連（プレクストーク）について（4）「旭川冬まつり」雪像づくりについて（5）学校評価についての内容で開催されました。旭川市福祉保健部障害福祉課・課長である水上委員長の挨拶から始まり、各内容の説明のあと、本校中学部の生徒が職業家庭の授業で制作したペン立てをプレゼントし、学習の成果も見ていただきました。その後、今回は給食試食会も実施し、自慢の給食（今回は醤油ラーメンです。）も食べていただきました。委員の皆様から「凄くおいしい」とのお言葉をいただき、旭川盲学校の子どもたちはうらやましいなど話されていました。



○プレクストークについて

今年度第2回の学校運営協議会において「読書環境を整え、視覚障がいの方にも読んでほしいため、読書の機会を増やしてほしいと思っている。盲学校にデージー図書を聞くための機器を貸し出すことも可能である。」との熟議があり、実現しました。旭川盲人福祉センター旭川点字図書館・館長の宮崎伸一様より最新のプレクストークをお借りして、先生方も使い方の研修をし、子どもたちの読書環境を整えました。



○「旭川冬まつり」雪像づくりについて

今年度第2回の学校運営協議会において「地域の旭川雪まつりや市民雪像制作などに参加するのはどうか。」との熟議があり、実現しました。構想2ヶ月、制作1週間で雪像「旭ディアー」が誕生しました。本校の理解・啓発につながればと思います。旭川盲学校の子どもたちも、校外学習で「旭川冬まつり」に見学に行きました。



<熟議の内容>

- ・学校運営協議会に参加して皆さんとの親近感を感じました。学校がプレクストークをすぐに使用してくれて、図書・読書に興味を持ってくれた児童・生徒の皆さんにありがたく思っています。
- ・HPの充実に感動しました。合わせて発信力の大事さを感じました。
- ・先生方が子供たちに明るく接したり、旭川盲学校のことを社会に発信したりしていることを聞き、継続して取り組んでいってほしいと感じました。
- ・旭川盲学校が地域とつながっていると感じました。PTAも会員が減少しているが茶話会などで情報交換などを行って学校運営協議会のようにより良くなるようにと思っています。
- ・町内会の皆さんは盲学校の子どもを孫のように接しています。引き続き盲学校とのかかわりを密にしていきたいと思っています。
- ・初めて学校運営協議会に参加して「熟議」したことが実現していくのを見ていて素晴らしいと感じています。校長先生をはじめとして教職員の皆さんのフットワークの良さに感動しています。